

◆◇ もくじ ◇◇

- 1 【重要なお知らせ】
- 2 【イベント】
- 3 【募集案内】
- 4 【お知らせ】
- 5 【消費者の部屋】
- 6 【ひとことメッセージ】
- 7 【ふるさと元気だより】
- 8 【ウェブサイトの新着・更新に関する情報】

読者アンケートのお願い

今後のメールマガジンの内容充実を図るため、読者の皆様にアンケートのご協力をお願いしています。以下のURLよりご回答をお願いします。

<https://www.maff.go.jp/chushi/mailm/magazine/an20260323.html>

1 【重要なお知らせ】

▼中東情勢関連対策ポータルを設置しました

農林水産省では、昨今の中東情勢を踏まえ、支援策や各種相談窓口などの情報をまとめたページを公開しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/chuto_josei.html

▼燃料油や石油製品の供給に関する相談窓口の設置について

燃料油や石油製品等の供給について、流通や取引の状況に影響が及ぶ場合に備えて、事業者の皆様からの情報を受け付ける相談窓口を設置しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/chushi/press/kikaku/260331.html>

▼みどりの食料システム戦略

農林水産省では、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を策定し、中長期的な観点から、調達、生産、加工・流通、消費の各段階におけるカーボンニュートラル等の環境負荷低減事業活動を推進しています。

「みどりの食料システム戦略」全般に関する情報

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/index.html>

▼鳥インフルエンザの正しい知識

政府としては、鶏肉・鶏卵は「安全」であり、我が国の現状において、家きんの肉や卵を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザに感染する可能性はないと考えています。

なお、鳥インフルエンザに感染した鶏肉・鶏卵は市場に出回ることはありません。

詳しくは、こちらをご覧ください。（食品安全委員会ウェブサイト）

https://www.fsc.go.jp/sonota/tori/tori_infl_ah7n9.html

https://www.fsc.go.jp/sonota/tori/tori_iinkai_kangaekata_140424.pdf

また、鳥インフルエンザウイルスは、通常、ヒトに感染することはありません。

しかしながら、感染したトリに触れる等濃厚接触をした場合など、きわめて稀に鳥インフルエンザウイルスがヒトに感染することがあります。

詳しくは、こちらをご覧ください。（厚生労働省ウェブサイト）

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou02/ga.html>

2 【イベント】

☆中国四国農政局から

▼【新着】令和8年度中国四国農政局食育セミナー「いれ方で変わる！？体感しよう！お茶のヒミツ～おいしいお茶のいれ方教室～」

中国四国農政局は、食文化の継承を目的に小学3年生～6年生とその保護者の方を対象に、急須を使ったおいしいお茶のいれ方を体験できる食育セミナーを開催します。今回のセミナーでは、株式会社伊藤園の方を講師にお招きし、おいしいお茶のいれ方のポイントを教えていただきます。体験を通して、親子で飲み比べながら味や香りの違いを楽しみ、日本の食文化にふれてみませんか？この夏の自由研究にもぜひご利用ください。

また、会場での開催に加え、オンライン配信も行いますので、遠方の方もぜひご参加ください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【開催日時】

令和8年7月28日(火曜日)13時30分～15時00分(受付開始13時00分～)

※オンライン配信も同様に13時30分～15時00分

【開催方法】

会場開催およびオンライン配信（YouTube）

【開催場所】

学校法人本山学園 西日本調理製菓専門学校 1階 第2調理実習室
(岡山県岡山市北区大供3-2-18)

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/chushi/press/seikatsu/260612.html>

▼【新着】水田政策の見直しに関する地方説明会の開催及び参加者の募集について（中国四国ブロック）

「令和9年度からの水田政策の見直し」について、全国各地の農業者・団体等の関係者の皆様に御説明を行うとともに、御意見を伺いたく、地方説明会（中国四国ブロック）を開催します。

【開催日時】

令和8年7月6日（月曜日）13時30分から15時00分まで（受付開始12時30分から）

【開催形式】

対面及びオンライン（Microsoft Teams）

【開催場所】

レクザムホール（香川県県民ホール）（香川県高松市玉藻町9-10）

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/chushi/press/kikaku/260611.html>

▼【新着】農政局フェアおかやまいいもの探訪～2026夏～in岡山高島屋の開催について

中国四国農政局は、岡山高島屋と連携し、農林水産省の様々な施策のPRを行うとともに、関連する岡山県の実践事例等の紹介や農産物・加工品の販売を行います。

【開催期間】

令和8年6月25日（木曜日）～6月29日（月曜日）

10時00分～18時15分 最終日は16時00分閉場

【開催場所】

岡山タカシマヤ8階催会場（岡山市北区本町6番40号）

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/chushi/press/kikaku/260609.html>

▼【新着】令和8年度中国四国農政局農業農村整備事業等事業評価技術検討会の開催について

農林水産省では、事業の効率的な執行及び透明性の確保を図る観点から、事業採択後、一定期間ごとに当該事業をとりまく諸情勢の変化を踏まえた事業の再評価を行い、翌年度以降の事業実施方針を決定しています。

この再評価の実施にあたっては、専門的知見を有する第三者で構成する技術検討会の意見を受けることとしており、本年度の技術検討会を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

【開催日時】

第1回：令和8年6月19日（金曜日）13時45分～15時45分

第2回：令和8年7月17日（金曜日）13時30分～15時00分

【開催場所】

第1回：愛媛県西条市周布220番地1 道前平野農地整備事業所 2階会議室

第2回：岡山県岡山市北区桑田町1-36 岡山地方合同庁舎 1階会議室

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/chushi/press/setukei/260605.html>

☆農林水産省から

▼【新着】農林水産関係4白書の全国説明会の開催について

今般、令和7年度の農林水産関係4白書（食料・農業・農村白書、食育白書、森林・林業白書、水産白書）を公表いたしました。農林水産・食品の生産・加工・流通・販売に関わる事業者や消費者など幅広い関係者の皆様に農林水産業のトレンド、課題や取組をご紹介するため、説明会をオンライン形式で開催いたします。

【開催日時】

令和8年6月24日（水曜日）13時10分から17時00分まで

令和8年6月30日（火曜日）13時10分から17時00分まで

令和8年7月9日（木曜日）13時10分から17時00分まで

【開催方法】

オンライン形式（Microsoft Teams を使用）

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kihyo04/260616.html>

▼「こどもの森づくりフォーラム in 高知」の参加者を募集します

こどもの森づくりフォーラム実行委員会（公益社団法人国土緑化推進機構、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク、（公財）ニッセイ緑の財団、高知県、高知市、（公社）高知県森と緑の会、林野庁）は、第78回全国植樹祭の関連事業として、令和8年9月13日（日曜日）に、高知県高知市において「こどもの森づくりフォーラム in 高知」を開催します。

【開催日時】

フォーラム：令和8年9月13日（日曜日）13時00分～17時30分

分科会：令和8年9月13日（日曜日）10時00分～11時45分

【開催場所】

新来島高知重工ホール（高知県高知市本町4丁目3-30）

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

3 【募集案内】

☆中国四国農政局から

▼【新着】「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」募集開始！

農林水産省は、「強い農林水産業」と「美しく活力ある農山漁村」の実現にむけて、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」と称して令和8年8月31日（月曜日）まで、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる事例を募集します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/chushi/press/shinko/260615.html>

▼【新着】農福連携に取り組む優れた事例を表彰！「ノウフク・アワード2026」募集開始！

「ノウフク・アワード2026」は、農福連携に取り組んでいる優れた事例を表彰するものです。農福連携は、農林水産業と福祉等の多様な人材が連携し、障害者等の社会参画、農林水産業の維持発展等を実現する取組です。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/chushi/press/tosi_noson/260615.html

☆農林水産省から

▼【新着】「雇用就農資金」令和8年度第2回目の募集を実施します

農林水産省では、雇用就農者の確保・育成を推進するため、50歳未満の就農希望者を新たに雇用する農業法人等に対して「雇用就農資金」を交付しています。

この度、事業実施主体である一般社団法人全国農業会議所（全国新規就農相談センター）において、令和7年10月1日（水曜日）から令和8年6月1日（月曜日）の間に就農希望者を新たに雇用した農業法人等を対象に、令和8年7月22日（水曜日）まで令和8年度第2回目の募集を実施します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/zinzai/260618.html>

▼【新着】GAP（農業生産工程管理）の優れた取組を募集します！

農林水産省は、持続可能な農業の確立を目指し意欲的に経営や技術の改善、普及等に取り組んでいる農業者、農業団体、流通・加工業者、自治体、教育機関等を表彰する「令和8年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール」を実施します。なお、当コンクールは令和6年度からGAP部門及び有機農業・環境保全型農業部門の隔年開催とし、令和8年度においては「GAP部門」のみ募集をいたします。自薦他薦は問いません。令和8年6月16日（火曜日）から募集を開始しますので、奮ってご応募ください。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kankyo/260616.html>

▼【新着】農作業中の熱中症対策を呼び掛ける「令和8年度熱中症等対策声かけ隊」を募集します

農林水産省は、本年7月から9月にかけて、農業者に対する「夏の熱中症等対策声かけ期間」を推進するとともに、同期間に声かけ活動に取り組んでいただける方を募集します。また、声かけ活動に取り組む者に対しては、大塚製薬（株）と連携し、先着でイオン飲料を提供し、水分補給を促す活動を支援します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/sizai/260615.html>

▼【新着】「農福連携サポーターズ（応援企業）」による取組事例を募集します！

農福連携等応援コンソーシアム（事務局：農林水産省）は、農福連携等に取り組む事業者に対するサポート等を行う企業・法人等の募集を行います。コンソーシアムの会員が「もっと広げてほしい」と評価する優良な取組を表彰し、感謝状を授与する企業を選定します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/260615_1.html

▼【新着】「アグリビジネス創出フェア 2026」で最新の研究成果を紹介しませんか

農林水産省は、令和8年11月11日（水曜日）から11月13日（金曜日）まで、全国のスマート農業技術メーカーやスタートアップ等が参加して、農林水産・食品分野等の最新の研究成果を分かりやすく紹介し、出展者と来場者のマッチングを促す「アグリビジネス創出フェア2026」を開催します。このため令和8年6月30日（火曜日）までの間、出展者及びプレゼンテーション発表者を募集します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/260609.html>

▼【新着】令和8年度「農業技術功労者表彰」における候補者の募集を開始します

農林水産省は、農業及びその他関連産業に関する研究開発の一層の発展並びに農業技術者の一層の意欲向上に資するため、公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会と共催で、令和8年度「農業技術功労者表彰」の候補者の募集を開始します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/260605.html>

▼食育を推進する優れた取組を募集します！～「第11回食育活動表彰」候補の募集開始について～

農林水産省は、ボランティア活動、教育活動又は農林漁業、食品製造・販売等その他の事業活動を通じて食育を推進する取組を募集します。優れた取組は、第22回食育推進全国大会で表彰する予定です。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/260601.html>

▼令和8年度「SAVOR JAPAN」の募集を開始します。

農林水産省は、地域の食とそれを生み出す農林水産業を核として訪日外国人の誘致を図る地域の取組を「SAVOR JAPAN」として認定し、我が国が誇る農山漁村の食の魅力を広く一体的に発信しています。

令和8年度新たに「SAVOR JAPAN」として認定する地域の取組を令和8年6月1日（月曜日）から7月31日（金曜日）まで募集します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/260529.html>

▼森業キックオフ・フォーラムを開催！

林野庁では、「森業（もりぎょう）」の振興に向けたキックオフとして、全国各地のトップランナーが集い、森と人、山村と都市をつなげる森業の可能性について議論・発信する「森業キックオフ・フォーラム」を開催いたします。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/sanson_ryokka/260528.html

▼令和8年度「輸出に取り組む優良事業者表彰」募集開始！

農林水産物・食品の輸出の発展に向け、「地域ぐるみでの輸出産地の形成」、「輸出可能品目の拡大」、「新たなジャンル（健康食品、中食）の開発」、「輸出ロットの拡大等による価

格競争力の強化」、「新市場の開拓」、「輸入規制の緩和・撤廃への働きかけ」などの観点から顕著な実績を挙げている農林水産物生産者、企業、団体及び個人を広く発掘し、その取組内容を表彰、食品の輸出に関心のある方々に広く周知することにより、新たに輸出にチャレンジする方々への一助となることを目的として「輸出に取り組む優良事業者表彰」を実施します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/s_keisei/260525.html

▼第2回「食と農をつなぐアワード」募集開始

農林水産省は、「ニッポンフードシフト」事業の一環として、生産者・食品事業者から消費者まで、食と農をつなぐ優良な取組を募集しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/260525_1.html

▼第2回「FOOD SHIFT セレクション」募集開始

農林水産省は、「ニッポンフードシフト」事業の一環として、国産農林水産物を積極的に選んでもらうため、「FOOD SHIFT セレクション」の候補となる産品を募集しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/260525.html>

▼第25回「聞き書き甲子園」に参加する高校生の募集を開始します

聞き書き甲子園実行委員会（農林水産省ほか）は、高校生が、森・川・海とともに生きる知恵や技を持つ「名人」を訪ね、一対一で聞き書きし、その成果を発信する「聞き書き甲子園」を開催します。

「第25回聞き書き甲子園」の開催に当たり、令和8年5月8日（金曜日）より、全国から高校生を募集します。

また、第26回の開催に向け、本取組に賛同し、森・川・海の名人の推薦等の協力をいただける市町村を公募します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/sanson_ryokka/250509.html

▼【マレーシア進出を検討中の食品関連企業の皆様】現地官民ミッションへの参加者を募集します

農林水産省は、令和7年4月に閣議決定された食料・農業・農村基本計画を受け、農林水産物・食品の輸出拡大との相乗効果を図る観点から、食品産業の海外展開に向けた取組を強化しています。

この一環として、マレーシアへの海外ビジネス展開に関心を持つ食品製造業、外食産業等の食品関連企業を対象として、令和8年9月6日（日曜日）から9月10日（木曜日）までの期間、現地へ官民ビジネスミッションを派遣しますので、参加者を募集します。

本ミッションでは、現地政府機関・関連企業への訪問、意見交換等を予定しており、現地の状況を捉える絶好の機会になりますので、是非ご参加ください。

【訪問日程】

令和8年9月6日（日曜日）から9月10日（木曜日）まで

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/kaitaku/260424.html

▼令和8年度（第22回）「若手農林水産研究者表彰」における候補者の募集を開始します

農林水産省は、令和8年度（第22回）「若手農林水産研究者表彰」の候補者の募集を開始します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/260417.html>

▼令和 8 年度（第 27 回）「民間部門農林水産研究開発功績者表彰」における候補者の募集を開始します

農林水産省は、公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会と共催で、令和 8 年度（第 27 回）「民間部門農林水産研究開発功績者表彰」の候補者の募集を開始します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/260417_1.html

▼第 3 回みどり戦略学生チャレンジの参加登録を開始します！

農林水産省では、高校生・大学生等を対象に、「みどりの食料システム戦略」に関わる取組を募集する「みどり戦略学生チャレンジ」を実施しています。

第3回みどり戦略学生チャレンジでは、第2回に引き続き、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会の後援を受け、「GREEN×EXPO 2027賞」を創設しています。

参加登録期間は4月15日（水曜日）から7月31日（金曜日）まで。皆様のご応募をお待ちしています。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/260415.html

4【お知らせ】

☆農林水産省から

▼【新着】国際原子力機関（IAEA）の枠組みの下で実施する水産物等の試料採取について

国際原子力機関（IAEA）は、2026年6月24日（水曜日）及び25日（木曜日）に、福島県沖水産物等の試料採取を行います。

今回は、IAEAの海洋環境研究所に加え、更なる信頼性や透明性の確保を行うため、IAEAから指名された中国、韓国及びスイスの第三国分析機関が参加予定です。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/kenkyu/260616.html>

▼【新着】令和 7 年度の農地中間管理機構の実績等の公表について

農林水産省は、令和7年度における担い手への農地集積の状況及び農地中間管理機構の実績について取りまとめ、公表しました。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/seisaku/260616.html>

▼【新着】令和 7 年度食育白書を公表

令和8年6月16日、「令和7年度食育白書」が閣議決定されました。

今回の白書では、特集として、食育基本法制定以来約20年にわたる「食育基本法のあゆみ」を振り返りました。

食育基本法が制定された経緯や、この法律に基づいて作成される食育推進基本計画の変遷、各計画作成時の社会を取り巻く情勢などを記載しているほか、具体的な食育活動の取組事例等を幅広く取り上げ、食育について広く国民の皆様にご覧いただくことを目指しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/260616_1.html

▼【新着】「スマート畜産技術のイノベーション・普及に関する検討会」の開催について

農林水産省は、「鶏卵の安定供給を図るための生産・流通対策パッケージ」を公表しました。その内容を受け、官民連携してスマート畜産のイノベーションを進めるとともに、開発された

技術の普及を図るため、「スマート畜産技術のイノベーション・普及に関する検討会」を設置し、令和8年6月23日（火曜日）に第1回検討会を開催します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/press/chikusan/c_sinko/260616.html

▼【新着】豆腐及び納豆の認定指標作成等団体の認定について（豆腐・納豆コスト指標作成協議会）

農林水産省は、食品等の持続的な供給を実現するための食品等事業者による事業活動の促進及び食品等の取引の適正化に関する法律（平成3年法律第59号）第42条第1項の規定に基づき、豆腐・納豆コスト指標作成協議会を豆腐及び納豆の指標作成等業務を行う者として認定しましたので、お知らせいたします。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/kikaku/260612.html>

▼【新着】「令和8年度病害虫発生予報第3号」の発表について

農林水産省は、「令和8年度病害虫発生予報第3号」を発表しました。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/260610.html>

▼【新着】香港向け家きん由来製品の輸出再開について（青森県）

我が国の家きん由来製品の香港向け輸出について、青森県からの輸出が再開されましたのでお知らせします。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/260610.html>

▼【新着】令和8年度のバター及び脱脂粉乳の輸入枠数量の検証について

農林水産省は、令和8年度のバター及び脱脂粉乳の輸入枠数量について、引き続き、WTOにおいて輸入機会の提供を約束している最低数量にとどめ、品目別内訳を据え置くこととします。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/press/chikusan/c_gyunyu/260605.html

▼【新着】令和8年度農福連携等応援コンソーシアム総会を開催します

農福連携等応援コンソーシアム（事務局：農林水産省）は、7月13日（月曜日）に「令和8年度農福連携等応援コンソーシアム総会」を開催します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/260605.html>

▼【新着】「森林・林業基本計画」及び「全国森林計画」の変更について

新たな「森林・林業基本計画」は、環境に配慮した企業経営やウェルビーイングの観点から木材利用への期待が高まっていることを踏まえ、正の連鎖でつなぐ国産材サプライチェーンを構築し、国民の安全・安心を根底から支える多様で健全な森づくりを着実に進めるものです。これにより、森林・林業・木材産業の好循環を生み出し、百年つづく「森の国・木の街」の実現を目指します。

また、これを踏まえ、「全国森林計画」についても変更を行いました。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kikaku/260605.html>

▼【新着】「令和7年度水産白書」が閣議決定されました。

令和8年6月5日、「令和7年度水産白書」が閣議決定されました。

今回の特集のテーマは、「養殖業の成長産業化に向けた対応」です。

本白書を通じて、我が国の水産業に対する理解を深めていただくとともに、広く国民の皆様にご関心を持っていただくことを目指しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/kikaku/260605.html>

▼農業経営発展計画制度について

令和7年4月1日より、農業経営発展計画制度が始まっています。

この制度は、農地所有適格法人が、出資により食品事業者等との連携措置を通じて農業経営を発展させるための計画（農業経営発展計画）について、農林水産大臣の認定を受けた場合に、議決権要件を特例的に緩和できるものです。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/241017.html>

▼国内における鳥インフルエンザの発生状況について

令和7年シーズンは、家さん農場において国内で24例、うち中国四国地域では鳥取県、岡山県及び香川県で各1例の高病原性鳥インフルエンザが発生しています。

このため、農場におけるウイルスの侵入防止対策の強化をお願いします。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/r7_hpai_kokunai.html

5 【消費者の部屋】

☆中国四国農政局から

▼「消費者の部屋」展示のご案内

「消費者の部屋」の展示コーナーでは、施策に関するパンフレットやイベント情報を紹介するとともに、農林水産行政、農業・農村や食生活などからテーマを決めて情報提供を行っています。

【設置場所】

岡山市北区下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎1階

中国四国農政局「消費者の部屋」展示コーナー

▽テーマ：「輝く取組がここに。中国四国地域の食育を見てみよう！」～6月は「食育月間」です！～

6月は「食育月間」です。農林水産省では、食育を推進する優れた取組を讃えるため、「食育活動表彰」を実施しています。

今回の「消費者の部屋」の展示では、今年度受賞された香川県立三本松高等学校、株式会社cica、「ひろしま食の手帖」編集部の3団体の取組や、過去に受賞された備前市栄養委員会及び岡山県立大学保健福祉学部子ども学科の取組をご覧ください。

地域に根ざした多彩な食育活動を通して、「食」についてあらためて考えてみませんか。

【開催期間】

令和8年6月15日（月曜日）～7月3日（金曜日）

9時00分～17時00分

（土曜日、日曜日を除く。最終日は13時まで）

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/chushi/press/seikatsu/260601.html>

▼「移動消費者の部屋」展示のご案内

中国四国農政局の管内各地に出向き、農林水産行政や食生活等に関する様々な情報を消費者の皆さまへ提供する「移動消費者の部屋」を開催しています。

▽移動消費者の部屋in徳島

テーマ：「輝く取組がここに。中国四国地域の食育を見てみよう！」～6月は「食育月間」です！～

6月は「食育月間」です。農林水産省では、食育を推進する優れた取組を讃えるため、「食育活動表彰」を実施しています。

今回、徳島市立図書館で開催する「消費者の部屋」の展示では、今年度受賞された大塚製菓株式会社、香川県立三本松高校、株式会社cica、「ひろしま食の手帖」編集部の取組や昨年度受賞された神山町の「NPO法人まちの食農教育」の取組をご覧ください。

また、地域での食育活動として「徳島県の食文化の保護・継承のための取組支援」や「四国大学の学生による食品ロス削減の取組」など、実践的な取組もご紹介します。さらに、食卓と農の現場との距離の広がりや食生活の乱れといった、現代ならではの食の課題と、それらに向き合う全国各地の取組についてもご紹介します。

地域に根ざした多彩な食育活動を通して、「食」についてあらためて考えてみませんか。

【開催期間】

令和8年6月9日（火曜日）～6月25日（木曜日）

開館時間：9時00分～21時00分

【開催場所】

徳島市立図書館 5階図書館ギャラリー（徳島県徳島市元町1-24 アミコビル内）

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/chushi/press/seikatsu/260526.html>

▽移動消費者の部屋in山口

テーマ：「輝く取組がここに。中国四国地域の食育を見てみよう！」～6月は「食育月間」です！～

6月は「食育月間」です。

農林水産省では、食育を推進する優れた取組を讃えるため、「食育活動表彰」を実施しています。

今回、山口県健康づくりセンターで開催する「消費者の部屋」の展示では、長門市の地産地消給食の取組のほか、今年度受賞された香川県立三本松高等学校、株式会社cica、「ひろしま食の手帖」編集部の3団体の取組などをご紹介します。

地域に根ざした多彩な食育活動を通して、「食」についてあらためて考えてみませんか。

【開催期間】

令和8年6月1日（月曜日）～6月30日（火曜日）

開館時間：8時30分～17時15分（初日は15時から、最終日は13時まで）

【開催場所】

山口県健康づくりセンター（山口県山口市吉敷下東3-1-1）

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/chushi/press/seikatsu/260518.html>

6 【ひとことメッセージ】

高知南国のほ場整備の現場から ～土佐の二期作～

高知南国農地整備事業所長 田井 真和

昨今の米価高騰を背景に、水稻収穫後に再び穂を实らせる再生二期作が全国的に注目を集め、収量安定に向けた品種や栽培方法の議論も活発化しています。

こうした動きの中で、高知南国地区の受益地である南国市の歴史は示唆に富んでいます。同市はかつて県内有数の二期作地帯で、その起源は江戸中期にさかのぼります。長期間温暖で秋の気温低下が緩やかな気候は稲の生育期間を長く確保でき、二番穂の形成に適していました。さらに藩政期には二番穂が年貢の対象外であったことから、農民にとっては純増収となる魅力的な作物であり、栽培の拡大を後押ししたとされています。明治・大正期には、二期作向け品種の開発や育苗技術、石灰施用などによる地力維持の工夫が進み、一番穂の極早生化も相まって、二期作は戦前の高知農業を象徴する存在へと成長しました。しかし戦後は全国的な農業構造の変化により急速に衰退し、現在ではほとんど見られなくなっています。

それでも、昨年、二度目の田植えの光景をちらほら見かけました。今年はどうなんだろうと興味が湧きます。高知では園芸作物の収益性が高く、二期作が再び主流となる可能性は高くないかもしれませんが、限られた農地を最大限に活用しようとする発想や、地域農業を支えてきた歴史的役割は今なお重要な意義を有しています。こうした背景を踏まえつつ、国営事業による優良農地の整備を着実に進めていくことの重要性を改めて認識し、引き続き事業の推進に努めてまいります。

7 【ふるさと元気だより】

出来る範囲でコツコツと

愛媛県拠点 行政専門員 仙波 正弘

白い大型犬かと思いきや、なんとヤギをお供に町内を悠々と散歩する高齢男性。あちこちから「区長さん、あれどうなった」「町内会長、ちょっとええかな」と声を掛けられ散歩もそこそこに帰宅する。毎日多忙である。

集落の人から「うちの園地面倒みてや」と頼まれ、廃園にしてはいけないと農林水産省を早期退職し、自身の園地に加え「家族で出来る範囲まで」とルールを決めて引き受け、奮闘している。

その区長が、ひょっこり県拠点を訪ねてきた。「今年は甘平が豊作やったけど値段が安かった。肥料や農薬が値上がりして大変よ。年々体も動かんようになるししんどいことだらけよ。」と近況報告。しかし、趣味のゴルフでは体は動くらしく、時間を作ってはラウンドしている。

帰り際の言葉が印象的であった。「地域の農業と農地は誰かが守らないかん。自分にできることは限られるけん出来る範囲でコツコツよ。」

これからも、体に気をつけて頑張ってください。

8 【ウェブサイトの新着・更新に関する情報】

政策情報

【農業生産】

令和8年4月の米穀流通の動向（集荷、販売、民間在庫）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/260529.html>

指定野菜の入荷量及び卸売価格の見通し（令和8年6月）

https://www.maff.go.jp/chushi/press/se_tokusan/260529.html

令和7年産米の相対取引価格・数量について（令和8年5月）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/260617.html>

米に関するマンスリーレポート（令和8年5月号）の公表について

https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/260520_1.html

【統計情報】

農業支援サービスに関する意識・意向調査結果

<https://www.maff.go.jp/j/finding/mind/>

令和7年木材統計

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai/#y>

【採用情報】

<https://www.maff.go.jp/chushi/org/recruit/index.html>

【報道・広報】

◇ニュースレター

https://www.maff.go.jp/chushi/kohoshi/mag_newsletter/

◇BUZZ MAFFチャンネル (YouTube)

- ・ちゅーしのじかん最新動画

美東ごぼうの収穫現場へ直撃！ごぼうの美味しさの秘密とは…？

https://www.youtube.com/watch?v=Cn_4NKw2FIE

- ・高知を愛しちゅう最新動画

「いたどり」を採って食べてみた

<https://www.youtube.com/watch?v=zdlNuBo3evg>

- ・広島の話をしよう最新動画

【J-クレジットの取組】広島の話をしようVo1.4

<https://www.youtube.com/watch?v=E4Q8Hzz6ad8&list=PLVc03uX0IwZv9XtGfkZmqc9rcPUddTf2M&index=1>

中国四国農政局の「BUZZ MAFF（ばずまふ）」

<https://www.maff.go.jp/chushi/pr/buzzmaff/index.html>

【申請・お問い合わせ】

◇発注・入札情報、その他公表事項

<https://www.maff.go.jp/chushi/nyusatsu/>

【その他】

◇農政局ウェブサイト新着情報

<https://www.maff.go.jp/chushi/sintyaku/>

編 | 集 | 後 | 記 |

店頭に梅が並び始めると、我が家は梅干しや梅シロップ、梅酢づくりに大忙し。手間をかけた分、出来上がりを待つ時間もまた楽しみです。（ま）

-
- ◆このメールマガジンは、農政情報をタイムリーにお届けするために、登録して頂いた方々に配信しています。配信の変更などはこちらからどうぞ。

<https://www.maff.go.jp/chushi/mailm/>

- ◆メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには、農林水産省ウェブサイト

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>

「3 PDFファイルについて」をご覧になり、「Get Adobe Reader」のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。

- ◆メールマガジンへのご意見・ご要望、または転載を希望する場合はメールでお知らせください。寄せられたご意見などは、メールマガジンで紹介させていただくこともございます。

- ◆中国四国農政局 お問い合わせ窓口

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/161125.html>

- ◆中国四国農政局 ウェブサイトURL

<https://www.maff.go.jp/chushi/>

- ◆中国四国農政局 公式X（旧ツイッター）

https://x.com/MAFF_CHUSHI

- ◆編集

〒700-8532 岡山市北区下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎
中国四国農政局 企画調整室 電話：086-224-4511(代) (内線2111)

最後までお読みいただき、ありがとうございました。